

登録コード	HM139900	開講年度	2026				
授業題目	分子医化学論文演習				担当教員	平塚 佐千枝 他	
英文授業名	Thesis Seminar in Biochemistry and Molecular Biology				副担当	富田 毅・加藤 真良・芦原 典宏	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能を理解でき、応用できる		
(2)詳細 /Detailed information	医科学分野における情報収集の手段の１つとして、論文読解を行う。論文を通して得た知識を第三者に伝達する手段も身につける。論文で報告されている情報の質を評価する眼も養う。						
(3)授業の概要 /Overview of course	医学データベースを用いて優れた医学論文を検索する能力を習得する。また、がんに着目した医科学分野の学術論文を読み、そのレビューを第三者にプレゼンテーションする能力を身につける。						
(4)授業計画 /Course plan	第1回-第5回 平塚 佐千枝 がん転移全般 第6回-第10回 富田 毅 生化学的側面から見たがん転移について 第11回-第15回 加藤 真良 発がん全般						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	(a)成績評価の方法 講義中の質疑応答をもとに評価する。到達目標の60%以上を合格とする。 (b)成績評価の基準 世界の最先端の情報を随時把握するように努め、年度毎に到達レベルを質疑応答および発表形式により評価する。上記の概念、知識、研究への還元への応用性を鑑みて、卓越している（秀）、「かなり上にある（優）」、「やや上にある（良）」、「水準にある(可)で成績を評価する。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	論文やテーマは、提示された領域から自分で選択するか、具体的なものが指示される。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	各担当教員に直接連絡						
(8)授業の形式 /Course format	個別面談とセミナー形式を併用する。適宜PCを利用する。						